

平成23年4月
西条市（愛媛県）

I. 平成22年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年9月)

1. 概況

目標指標について、「歩行者・自転車通行量（休日）」は前回調査にほぼ等しく、「居住人口」は減少する結果となった。

通行量については、年間目標利用者数の10万人を大きく上回る地域交流情報センター（新図書館）の利用者（22年12月末現在72万7,873人、1,350人／日）があったことや、21年3月に完了した中央地区広場（JR伊予西条駅周辺市街地）整備事業とも相俟って、同駅や新図書館等を含めて巡るアクアトピア悠歩事業との相乗効果が生まれた。

一方で、半世紀以上に亘り中心商店街の台所として市民に親しまれてきた老舗デパートが22年8月末をもって閉店したことに伴い、特に高齢者を中心として、食料品等の日常の買い物に不便を感じる状況が発生し、来街者が減少した。

この事態を重く受け止めた地元商店街振興組合では、顧客・賑わいを取り戻そうと、空き店舗を活用した直営のミニスーパーを22年12月20日にオープンさせた。「買い物弱者対策実証実験事業」として位置づけ、買い物弱者対策を講じる上での問題点等を洗い出すとともにモデルケースとするため、小売業のスキルを有する者を雇用し、生鮮野菜等の店頭販売のほか、65歳以上を対象とした商品宅配サービスや電話注文による買い物代行サービスを行っている。

これにより、近くで買い物が出来るという利便性が向上し、デパート閉店後、近隣の大型店で買い物をするなどして遠のいていた消費者が徐々に戻ってきていると考えられる。

一方、居住人口については、前年より減少しているが、民間主導による高層の住宅供給（東新町）が24年1月に予定されていることや、民間発のハード事業である紺屋町商店街整備事業においても住宅整備が計画されていることから、今後も事業効果の発現が見込まれる。

基本計画掲載事業は、ほぼ計画どおりに実施されており、総事業45事業のうち、9事業が完了、ソフト事業など18事業が実施中、工事など9事業が着手中、9事業が未着手である。特に、目標達成への大きな事業効果の発現が期待される紺屋町商店街整備事業については、（独）中小企業基盤整備機構の「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」を活用して現事業計画をブラッシュアップし、基本設計を行った。

中心市街地の活性化を図っていくためには、それぞれの事業の連携を図っていくとともに、ソフト事業を駆使していく必要があり、今後においても計画掲載事業を確実に実現し、民間事業者や中心市街地活性化協議会等の新しい動きを着実に活性化へ繋いでいけるよう、関係者との連携を図りながら目標の達成に向けて努力していく。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
賑わいと回遊性の向上	歩行者・自転車 通行量(休日)	8,449 人 (H19)	10,000 人 (H24)	8,755 人 (H22)	①	①
まちなか居住の推進	居住人口	8,873 人 (H19)	9,100 人 (H24)	8,891 人 (H23)	①	①

注) ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

(1) 歩行者・自転車通行量(休日)について

年間目標を大きく上回る地域交流情報センター(新図書館)の利用者があることや、中央地区広場(JR 伊予西条駅周辺市街地)の整備完了により、同駅や新図書館等を含めて巡るアクアトピア悠歩事業との相乗効果や商店街への回遊性が生まれるなど、一定の効果が見られる。

今後においても、23 年度から実施予定のレンタサイクル事業や、現在計画中の紺屋町商店街整備事業等により、中心市街地内への更なる回遊性が向上し、総合的な事業効果が発現することが見込まれるため、目標達成は可能であると見込まれる。

(2) 居住人口について

22 年度においては、大きな住宅供給がなかったこともあり、前年より減少した。

しかし、24 年 1 月に民間主導の住宅供給(東新町:15 階建て)が予定されていることや、今後、紺屋町商店街整備事業に併せた住宅供給も計画されていることから、同事業により新たな居住スペースが計画どおりに供給されれば、事業効果が更に発現すると見込まれるため、目標達成は可能であると見込まれる。

このように中心市街地への居住を求める要因として、中心市街地には、21 年 6 月にオープンした地域交流情報センター(新図書館)をはじめ、市役所等の官公署、医療・福祉施設や教育施設、都市公園など、多くの都市機能が集積していることや、郊外に比べて駅や病院などに近いことなど、立地条件に優れていることが住みやすいまちとなり、居住に繋がっていると考えられる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップと同じ見通し(①)のため、特になし

5. 今後の対策

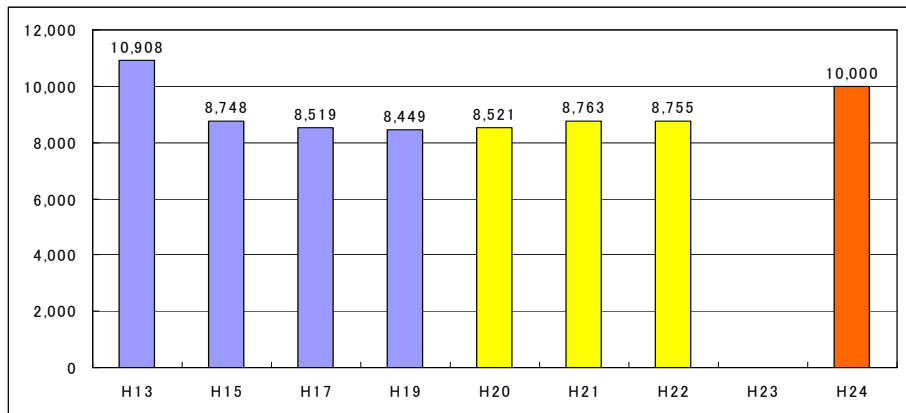
基本計画掲載事業を確実に実現していくとともに、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果『目標 「賑わいと回遊性の向上」』

目標指標 「歩行者・自転車通行量(休日)」 ※目標設定の考え方基本計画 P55～P60 参照

1. 調査結果の推移

西条商店街歩行者・自転車通行量（6 地点・休日）の推移



年度	人／日
H19	8,449 (基準年値)
H20	8,521
H21	8,763
H22	8,755
H23	
H24	10,000 (目標値)

※調査方法;歩行者・自転車通行量調査(毎年度 8 月実施)

※調 査 月;平成 22 年 8 月 28 日実施、9 月取りまとめ

※調査主体;西条市

※調査対象;休日(10 時～18 時まで)の西条商店街 6 地点(6 つの商店街の中心地点)の歩行者及び自転車の通行者(合計値)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 西条紺屋町商店街整備事業（西条紺屋町商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	西条紺屋町商店街において A～E にブロックを分けて整備を行う。 ・A 地区:店舗、スポーツジム、住宅整備、駐車場整備 ・B 地区:店舗、住宅整備、駐車場整備 ・C 地区:店舗(産直市)、駐車場整備 ・D 地区:テナント、戸建店舗、公園、駐車場整備 ・E 地区:複合医療施設、デイサービス、住宅整備、駐車場整備 ・アーケード整備
事業効果又は進捗状況	平成 24 年度の建築工事着手・完成を目指して、A・B・E 地区については国土交通省の補助事業を、C・D 地区については(独)中小企業基盤整備機構の「中心市街地商業活性化診断・サポート事業」により現事業計画をブラッシュアップする(22 年 6 月～23 年 2 月)とともに、愛媛県の補助事業を活用して基本設計(A・B・E 地区:22 年 12 月～23 年 3 月、C・D 地区:23 年 1 月～3 月)を行った。 なお、事業効果として、当該商店街に隣接する調査地点(2 地点)において、約 800 人の歩行者・自転車通行量(休日)の増加を見込んでいる。

②. 空き家情報発信事業（西条市）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～
事業概要	中心市街地の空き家状況を調査し、市のホームページにより空き家の活用に向けた情報発信を行うとともに、問い合わせに対しては、個別に相談を行うなど、積極的な対応に努める。
事業効果又は進捗状況	えひめ移住交流促進協議会（県内全市町が参画）において、全県を対象とした空き家情報バンクの整備を行い、21 年 4 月から公開しているところ。これを活用して、空き家情報を一元的に提供する。 中心市街地の空き家状況については、今後、宅建業者とも連携しながら把握に努め、同バンクに掲載していく予定。 問い合わせについては、個別に対応している。（計画認定後～22 年 12 月末までの相談件数は 5 件）

③. レンタサイクル事業（西条市観光協会、西条市）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	JR伊予西条駅隣にオープンした「鉄道歴史パーク in SAJO」への来訪客を中心市街地内へ引き込むために、自転車の貸し出しを実施する。
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度から事業実施予定。（自転車 5 台程度を「鉄道歴史パーク in SAJO」において貸し出しする予定。）

④. アクアトピア悠歩事業（西条市）

事業完了時期	【実施中】平成 24 年度
事業概要	JR伊予西条駅隣にオープンした「鉄道歴史パーク in SAJO」や、平成 21 年 6 月にオープンした地域交流情報センター（新図書館）を訪れる観光客や市民を街なかに誘導し、ゆったりと回遊してもらうための「西条水めぐりマップ」を作成・配布する。 回遊にあたっては、約 2 時間の回遊ルートを設定し、商店街やアクアトピア水系を中心とする施設等を案内する。
事業効果又は進捗状況	街なかをゆったりと回遊してもらうための「西条水めぐりマップ」を作成し、平成 20 年 5 月から「鉄道歴史パーク in SAJO」を発着点に、アクアトピア水系や商店街を回遊するコース（約 2 時間）で、現在 11 名のガイドが、観光客や市民を案内している。 事業開始から現在（平成 22 年 12 月末時点）までに、640 名の参加者があった。（うち、平成 22 年度（4 月～12 月）参加者は 110 名）

⑤. （仮称）祭り会館整備事業（西条市）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	地域の文化である「だんじり」をテーマとした体験型施設の整備

事業効果又は進捗状況	既存建物の利活用が可能かどうかも含めて施設のあり方について検討中。
------------	-----------------------------------

⑥. まちかど博物館整備事業（西条商店街まちづくり協議会）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	西条まつりの観光ブランド化を推進するため、祭りの魅力を全国に情報発信するとともに、観光客の誘客活動を展開するなど、観光資源のインパクトが高まっている中で、「西条まつり」をより知ってもらうため、商店街の個店の店先や空き店舗などを活用して、町内のだんじりの下絵や彫刻などを解説付きで展示する。
事業効果又は進捗状況	西条紺屋町商店街に隣接する東町商店街の整備について、地元と内容を煮詰める中で、「だんじり会館」の設置も検討していることから、当該事業も含めて検討中。

⑦. 地域交流情報センター（新図書館）整備事業（西条市）

事業完了時期	【済】平成 21 年 3 月
事業概要	地域交流情報センター機能のある図書館を整備
事業効果又は進捗状況	平成 21 年 6 月のオープン後、目標指標として掲げている「歩行者・自転車通行量(休日)」の回遊が見込まれる 3 地点において、前回調査(H21:4,856 人)と比較して、50 人増加(H22:4,906 人)している。 また、基準年値である H19(4,470 人)と比較して、H20 は 57 人、H21 は 386 人、H22 は 436 人と、年々増加の一途をたどる効果が現れている。

⑧. 地域交流施設整備事業（西条市）

事業完了時期	【未】平成 24 年度
事業概要	旧図書館を改修し、地域交流施設として整備
事業効果又は進捗状況	平成 23 年度に実施設計を行う予定。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に向けた主要事業のひとつである地域交流情報センター（新図書館）の利用者が、22 年 12 月 1 日に 70 万人に達するなど、開館以来、1 日平均 1,350 人の利用者があり、その結果、目標指標として掲げている「歩行者・自転車通行量(休日)」についても、回遊が見込まれる 3 地点において、前回調査(H21:4,856 人)と比較して、50 人増加(H22:4,906 人)している。

同センターのオープンにより、回遊が見込まれる 3 地点における通行量の増加を 80 人と見込んでいるが、基準年値である H19(4,470 人)と比較して、H20 は 57 人、H21 は 386 人、H22 は 436 人と、年々増加の一途をたどる効果が現れている。

また、原の前東(20 年 10 月完成)及び栄町中(20 年 2 月完成)の民間主導の住宅供給により、通行が見込ま

れる2地点において、前者は340人、後者は600人の通行量の増加を見込んでいるが、基準年値であるH19と比較して、最新値において、前者は100人の減少、後者は320人の増加となっており、当初見込んでいた効果は現れていない。

しかし、24年1月に民間主導の住宅供給(東新町:供給予定戸数59戸)が予定されていることや、今後、紺屋町商店街整備事業に併せた住宅供給(供給予定戸数126戸)も計画されていることから、同事業により新たな居住スペースが計画どおりに供給されれば、事業効果が発現すると見込まれる。

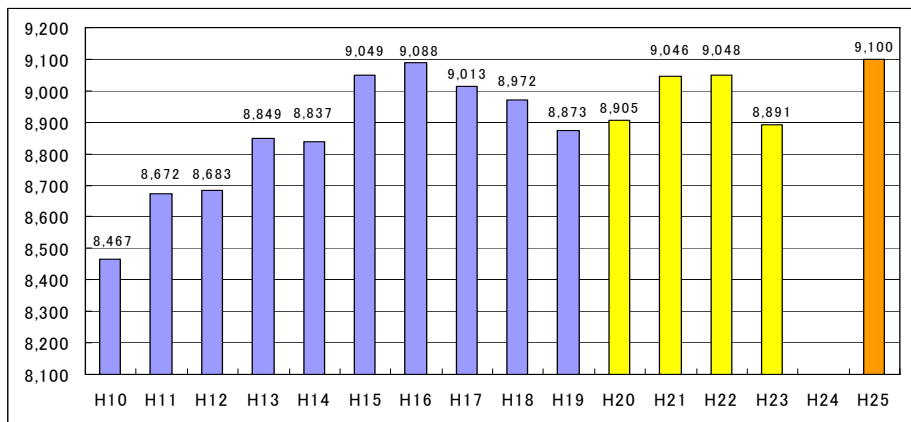
他の主要なハード事業((仮称)祭り会館整備事業、地域交流施設整備事業)については、現在、市内部での検討を行っているところである。これらのハード整備事業と併せて、平成19年11月にオープンした四国鉄道文化館、十河信二記念館、西条市観光交流センターとの連携を強化しながら、現在実施中のアクアトピア悠歩事業や23年度から実施予定のレンタサイクル事業など、回遊しやすい取組を実施することにより、来街者の商店街利用を促進することができることから、目標達成は可能であると見込まれるため、今後においても、これら事業の確実な実施に向けて進捗管理していく。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果『目標「まちなか居住の推進」』

目標指標 「居住人口」 ※目標設定の考え方基本計画 P63～P64 参照

1. 調査結果の推移

中心市街地の居住人口の推移



年	人
H19	8,873 (基準年値)
H20	8,905
H21	9,046
H22	9,048
H23	8,891
H24	
H25	9,100 (目標値)

※調査方法;中心市街地区域での住民基本台帳登録人口

※調 査 月;平成 23 年 3 月末時点調査、4 月取りまとめ

※調査主体;西条市

※調査対象;中心市街地内居住者

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 西条紺屋町商店街整備事業【再掲】P3 参照
- ②. 空き家情報発信事業【再掲】P4 参照

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

民間主導の原の前東(20 年 10 月完成)及び栄町中(20 年 2 月完成)の住宅供給により、470 人の居住人口の増加を見込んでいたが、当初見込みの約 6 割(約 290 人)の増加にとどまった。

しかし、24 年 1 月に、民間主導の住宅供給(東新町: 供給予定戸数 59 戸)が予定されていることから、新規入居者による人口増加が見込まれる。また、紺屋町商店街整備事業に併せた住宅供給(供給予定戸数 126 戸)も計画されていることから、同事業により新たな居住スペースが計画どおりに供給されれば、目標達成は可能であると見込まれるため、今後においても、これら事業の確実な実施に向けて進捗管理していく。